

令和 元年 12月 1日

令和元年度相談役・役員20名各位

⑤ 委員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会  
「ゆずり葉コミュニティ」  
会長 石谷 清明  
TEL 0797-20-5054

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」  
12月度 役員会

日 時：令和元年 12月 1日（日） 10：00～12：00

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

《 議 題 》

1.報 告

- (1) 10/6(日)「10月度定時役員会議事録」について (書記)  
資料 1～3 / 12 頁
- (2) 9/11(水)「まちづくり協議会代表者交流会議事録」報告 (会長)  
資料 4～9 / 12 頁
- (3) 10/9(水)「まちづくり協議会代表者交流会議事録」報告 (会長)  
資料 10～11 / 12 頁
- (4) 11/13(水)「まちづくり協議会代表者交流会レジュメ」報告 (会長)  
資料 12 / 12 頁
- (5) 「24 時間 365 日在宅生活支援サービス」について (資料配付) (社協)
- (6) 令和 2 年 1/1 発行「ゆずり葉だより」夏第 98 号について (事務局長)  
引取り=12/22(日)午後2時～午後3時  
但し 12/18 (水)に納品しますので、12/19(木)午後2時～午後3時引取り可能。

2.議 案

- (2) 「今回アンケート結果」を吟味し盛り込んだ 逆小「地域ごとのまちづくり計画」  
について (別紙資料) (OM 大森さん)
- (3) 令和 2 年度会長の選出について⇒5 役会にて、石谷を選出⇒承認を求める。(会長)

3.次回役員会 令和2年2月2日（日）10：00～12：00 (コミュニティルーム)  
以 上

令和元年 10 月 6 日  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 「ゆずり葉コミュニティー」  
会長 石谷 清明  
書記 浅田 憲哉

## 「令和元年 10 月度、福祉ネットワーク会議、定時役員会」議事控え

日時 : 令和元年 10 月 6 日 (日) 10 : 00 ~ 12 : 30

場所 : ゆずり葉コミュニティールーム

出席者 : 自治会又は管理組合

石谷、中村、光村、古泉、大澤、西澤、福田、柳瀬、沖田、竹内、大迫  
藤井、外山、梶浦、篠原、大森、山本、金城、赤坂、杵井、浅田

ゆずり葉会 宮川、棗田

行政 高野、寺下、沖本

社協 大関、岡田

コンサル 大森

逆瀬台小学校 高木

逆瀬台サービス 長井

宝塚栄光園 山野井

逆瀬川包括センター 中原、永田、廣島

民生委員 金井

(順不同、敬称略 合計 36 名)

1・石谷会長より、本日は 10 : 00 から 11 : 45 分までの時間を使って、福祉ネットワーク会議を行います、まずは、見守りに関しての逆瀬台自治会の事例を大澤会長より発表いただきますので、よろしく願いいたします

① (逆瀬台自治会、大澤会長より) 逆瀬台自治会における、災害時に自分たちでは、避難所に行けない方々の支援をどのように実施するのかの、発表をいただく。

- ・災害ボランティアチームとして、医者、看護師、大工さんや民生委員などの組織化の必要性
- ・日頃の活動に関しては、課題であり、自治会委員会で相談してゆきたいとの内容

② (大関さんより) : 生活支援コーディネーター

- ・なぜ、今見守りが重要なのか、家族、親族の方だけでは解決できない問題が増えている、
- ・日常のさりげない見守りから、サインを発見する

- ③ (逆瀬台包括支援センター：中原所長より)
  - ・宝塚第二地区を担当、第一小、西山小、逆瀬台小、末広小 各学校区
  - ・この地区の特徴は、高齢化率の高いこと (45.11%) その他各種データのご説明
  
- ④ (石谷会長より：地区内での見守りの実態に関する説明)
  - ・高齢者、子供、障害者への対応に関して
  
- ⑤ (逆瀬台小学校：高木校長よりご挨拶)
  - ・ゆずり葉祭りを皆楽しみにしております、スタッフの方は大変ですがよろしく申し上げます
  - ・子どもの見守り、登下校時の対応に関するお礼と今後の継続した対応へのお願い
  
- ⑥ (大関さん)
  - ・本日のグループワークの説明
  - ・各自の感じたこと、気づきの感想を発表してください  
(グループワーク実施)
  - ・自分たちでできること、これから必要なこと、どんな地域にしてゆきたいか
  - ・外出サポートの事例 (青葉台自治会)
  - ・各グループ発表実施
  - ・大関さんより、まとめのお話：本日出てきたことをゆずり葉地区全体で進めて行ければよい
  
- ⑦ (逆瀬台デーサービスセンター、長井所長より)
  - ・第1回ナイトサロンのご案内  
10/15 18:00～19:30 食事と音楽を提供 デーサービスセンターにて
  
- ⑧ (石谷会長より)
  - ・本日の総括を頂く

## 2. ゆずり葉コミュニティー役員会

- ① (ゆずり葉会より)
  - ・今回のゆずり葉まつりの概要のご紹介
  - ・お手伝いいただく方には、お茶とおにぎりを出します
  - ・子ども達も毎年、大変楽しみにしているイベントです、ぜひよろしく願いいたします
  
- ② (石谷会長より：まちづくり協議会代表者交流会実施のご説明)
  - ・7月、9月の代表者交流会のレジュメのご説明
  
- ③ (石谷会長より：ゆずり葉だより 令和2年1月1日号 12月22日に自治会配布予定)

④ (コンサル大森所長より)

- ・今回のアンケート結果をまちづくり計画に盛り込む作業に関する経過報告

⑤ (石谷会長より)

- ・今後の予定に関して、10/12 第2地区自治会連合会研修  
10/24 自治会連合会合同研修会 (参加費 1000 円)  
10/29 まちづくり協議会条例化説明会 (西公民館)
- ・まちづくり 5 役は 10/7 10:00 に集まってください

\*次回役員会 12月1日 10:00 より実施いたします、ご参集ください。

以上

## 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回）議事概要

日 時 令和元年9月11日（水）14：00～16：00

場 所 市役所3階 3-3会議室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長  
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長  
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長  
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長  
宝塚市西山まちづくり協議会（代理）大崎 裕子副会長  
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表  
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長  
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表  
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長  
売布小学校区まちづくり協議会（代理）笹田 光治副会長（会長代行）  
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長  
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表  
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長  
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長  
中山台コミュニティ 畑中 康治会長  
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 恵川 竜幸代表  
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長  
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長  
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長  
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他  
施設マネジメント課 橋本課長 他  
学校教育部 学校教育室 羽田室長  
社会福祉協議会 荻野氏 他  
関西総合研究所 宮本氏 他  
OM環境計画研究所 大森氏 他  
宝塚NPOセンター 馬越氏  
傍聴 11人

### 議事概要（要旨）

#### 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第3回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第3回）議事概要の確認が行われ、修正意見があり、修正後のホームページへの公開が承認された。

#### 2 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて

(1)統一フォーマットで作成した地域ごとのまちづくり計画（令和元年8月時点）の情報共有について

各まちづくり協議会の統一フォーマットで作成した地域ごとのまちづくり計画（令和元年度8月時点）を配布し、情報共有を行った。

- (2)各まちづくり協議会代表者から、(1)の計画書も参考にしながら、地域ごとのまちづくり計画の見直しに関する取組状況・今後の予定、良かったこと、困っていることなどについて、ご報告いただいた。  
概要については、以下のとおり。

**【すみれ】**

- ア 計画の骨子はできた段階であると認識している。今後は細部を検討した上で肉付けし、11月には最終案としてコミュニティ全体で協議を行う予定。  
イ まちづくり計画見直しの取組を通じ、今までの活動と今後の計画の位置付けが明確になり、これまでもたくさんのことを行っていたという認識を持てた。

**【美座】**

- ア 今後は、ネットワーク会議等の集まる機会でも再確認し、足りない部分を追加するなどしてまとめていく。特に、美座においては、水災害の可能性が高いため、安心安全を重点とし、十分な対策が取れる計画にしていきたいと考えている。12月末までにはきちんとしたものにまとめていく。

**【一小】**

- ア 8/21、9/21の2回に分けて、計画の検討を実施した。  
イ まちづくり協議会の役員会と評議委員会に中間報告をしている。

**【小浜】**

- ア 大堀川による浸水被害対策を考える必要がある。  
イ 人権問題については幅が広く、なかなかまとまらないが、皆が避けて通れないと自覚している。もう少しまとめていきたい。

**【仁川】**

- ア 9/4時点で6つの基本目標にまとめている。最終的には、もう一度全員で取りまとめ、色々な話し合いができるようにしていく。

**【安倉】**

- ア 9/6に役員会にて大まかなことを確認した。まちづくり計画については、アンケートを踏まえて作成しているが、改めて確認していきたい。

**【売布】**

- ア 青少年、環境の分野についてはまだ弱い部分があるため、9/12の役員会で集中的に協議する。  
イ 売布はメインとなる課題が定まっていない状況である。

**【中山台】**

- ア 中山台は造成50周年のため、「インフラ整備」の項目を新たに追加した。  
イ 詳細は12月までにまとめ、3月までに文書にする予定。

**【山本山手】**

- ア 基本目標が完成した。防災、住環境、防犯、交通、健康・福祉・交流、青少年の6つの分野に分けて計画を作っている。  
イ 今後は、具体的な取り組みの内容を精査していく。住民から要望が多いのは交通問題であり、他のコミュニティと調整が必要なことも出てくる。

**【西谷】**

- ア 5月の総会において中間報告を行った。  
イ 本日出している計画はほとんど最終形に近い。見直しを依頼している部分もあるが、特に問題はないという声が多い。  
ウ 地域の問題点として、人口減少が挙げられる。また、人口減少による小中学校の存続、交通問題などが課題。

**【末広】**

- ア 色々な方々にアンケートを実施した。民間の事業者の方から、「協力できるところは協力する」旨の意見をいただいている。

イ 現状行っている取組はすべてよいという意見であったため、現状行っていることは計画に入れつつ、新しい取組で力のかかる単発の取組なども入っている。

#### 【ゆずり葉】

ア 平成 15 年にまちづくり計画策定後、ことあるごとに見直しを行ってきた。

イ まちづくり協議会の主な団体に対し、6 月にアンケートを実施し、その結果を 7 月にまとめ、8 月に選抜チームで、今のまちづくり計画の中にいかに盛り込むかという話し合いを行った。

ウ 環境が良いがゆえに引っ越さない人が多く、高齢化率が上がっている。老老介護や担い手、空き家などの問題がのしかかってきている。ソフト面をいかに充実させるかを考えていく必要がある。

#### 【ひばり】

ア 具体的なところはまだできておらず、できる限りの範囲でまとめている。

イ きずきの森の隣に、宝塚太陽光発電所というものができる。このことについて、環境面として頭に置きながらまちづくり計画を作らないといけないと考えている。

#### 【光明】

ア 当初、具体的な取り組みは 100 個くらいあった。

イ ここ 2 か月の検討委員会は人数を 3, 4 人程度増やして実施した。4 つの分科会ごとに分かれて行ったが、色々な意見が出たようで、本来は行政が取り組むべきことであるのに市民が取り組むとなっている、また、市民が取り組むべきことなのに行政が取り組むとなっているなどという意見もあった。いったんはそのまま計画に載せているが、今後検討が必要。

#### 【すえなり】

ア 現状と課題について多岐に渡って書いている。今回の計画の具体的な取り組みを基に前回の計画に記載されていた現状と課題をブラッシュアップして考えた。

イ 今後は 12 月の常任評議会でも最終案を提示し、承認されたものを地域の皆さんにお知らせする。3 月まで地域におけるパブリックコメントのような形で実施していく。

#### 【西山】

ア 6/23 に第 8 回の計画策定委員会を行い、本日共有している計画を作成した。まだ不完全なものなので、現在再度作り直している。9/22 の第 9 回計画策定委員会で全体像を示して話し合いをする予定。その後、西山地区創造会議、ネットワーク会議などを経て、最終的にまとめていきたい。

イ 計画策定を通じて、色々な活動をされている方の情報が共有できている、また、西山地域の状況を把握できてきていると感じている。

ウ 困っている点としては、委員への参加が限定されていること、若い人の参加が少ないことが挙げられる。

#### 【良元】

ア 良元地区は 3 つの顔がある。一つ目は、平林寺や宝塚神社、小林聖心女子学院に代表されるような歴史と文化のまち。二つ目は、小林駅前の飲み屋街も含めた下町情緒あふれる人情味豊かなまち。三つ目は、がけ崩れの危険性がある特別警戒区域に指定された箇所があるということ。この点は次の世代にも重要なことであるため、今のうちから防災対策を行っていく。これら 3 つの顔をいかに次の世代に伝えるかについて苦慮している。

#### 【宝小】

ア 約 1 年あまり、ワークショップで意見を出し合い、その意見をまとめて中間報告としての計画を本日共有している。

イ 今後は、事業者の考えを収集しようと考えている。その後は、一般の住民の方に、まちづくり計画の策定などの我々が行っている活動についての理解をいただき、また、ご意見をいただきたいと思っている。この点について、他のまちづくり協議会で何か方策を取られている方などがあれば教えていただきたい。

## 【長尾】

ア 9/11の会議にて、「はじめに」、「現状と課題」、「地域の将来像」を詰めていく。

イ 10月の長尾のまちづくり協議会の広報誌に掲載し、皆さんの意見をうかがう予定。

ウ 園芸産業を今後どのように生かしていくかを考える必要がある。

### (3)意見交換

ア 連携が必要な取組については、次回の情報共有会議で進めていくことになると思う。

イ 長尾台小学校はレッドゾーンに入っているが、市はどうするのか。体育館はレッドゾーンに入ってしまった。市が指定している避難所がレッドゾーンに入っている状況だが、そのような場所に避難しろということなのか。改良のための工事について県にも相談しているが、まだできない。総合防災課にも相談しているが市は予算がないと言っている。

ウ 擁壁の費用については、現在の宝塚市においては9割が県、市が1割を支払う形、他市は市の代わりに市民が1割出す形となっていると聞いている。重要度や危険度を基に擁壁設置の順番が決まっているとのことだが、順番待ちの間に何か起こったらどうするのか。

エ 美座では、美座小学校が指定避難所にならず、宝塚小学校と小浜小学校となっている。しかし、様々な事情で宝塚小学校や小浜小学校まで避難することができない方々もいる。そこで、マンションやビルのオーナーに事前に協力をあおぎ、共用部分を一時避難所として使用することを考えている。指定避難所にこだわる必要もないのではないかと考えている。

オ 末広では、4つのマンションと協定を結んだ。

カ 県が新たにレッドゾーンを指定したということ踏まえ、今の議論の内容に関することが見直ししているまちづくり計画に入っているかについて見ておく必要がある。

キ (市) レッドゾーンに指定された地区について予算がないことを理由に、対策をしないということではない。土地所有がどこかによって対策工事をどうするかが変わってくる。長尾台小学校については、法面も市の所有となっている。その点については市が責任を持って対応する。どういう工事をするかについて検討している。急ぐ必要がある旨は認識している。

ク 川面地区自主防災会では、一昨年から防災センターの先生の指導を受けている。市が指定している避難所は、住民皆が避難した場合、全員を受け入れることはできない。そこで、防災スイッチ、避難スイッチという考え方で「こういう状態になったら逃げましょう」というのを皆で決めて実施しようとしている。逃げる必要があるのか、避難所はどこにするのかなどをまず住民皆で考えることが基本である。

ケ 防災については個々の状況によって行うべきことが色々ある。

コ 隣近所のまちづくり協議会との議論が今後は必要になってくると思う。継続して議論していきたい。

### 3 宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針について（施設マネジメント課）

施設マネジメント課から、配布資料に基づき、宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針について説明があった。

出た意見は以下のとおり。

#### 【意見概要】

①対策として「建物を解体」などと書かれているが、これは決定事項なのか。例えば、中山五月台小学校が解体することは決定なのか。

→市：市の考え方を現在示している状況である。

②建物の有効活用も含めて検討しており、どうするかという結論はまだ出てない状況であると思う。通学している方がこれを見たらショックを受けることとなる。

→市：資料の内容は、基本的な考え方となっている。今後、最終的な方針は、教育委員会等所管課から話が出る。



→座長：施設マネジメント課を通じて担当課とも連携してもらい、地域への説明会をしていただけたらと思う。

③既存施設を削減していく方向になっているが、必要なところは増やすという方向性も検討されているのか。

④前向きに「まちづくりをしよう」となっている時に、削減のことだけを検討されるのは厳しい。

→市：基本的には、市が持っている公共施設の維持管理費を考えると、保有したままサービスを提供していくことには課題がある。一方、状況が変わっていく中で、サービスの提供もその時に応じたサービスを提供していく必要がある。

⑤（別で）説明の時間を作してほしい。

#### 4 宝塚市コミュニティ・スクールについて（学校教育課）

学校教育課から、配布資料に基づき、宝塚市コミュニティ・スクールについて説明があった。出た意見は以下のとおり。

##### 【意見概要】

①まちづくり計画にコミュニティ・スクールを入れることも考えないといけない。

各学校長の考えはどうなっているか。

→市：宝塚型のコミュニティ・スクールとなっており、市の要綱に沿った形で作っていくということで納得いただいている。

②要綱に「学校長の求めに応じ」とある。学校長によって方針が変わるのか。

③学校長の考え方によって方針は変わると思う。保守的な人もいる。学校の言うとおりにしてもらえたらと言う人もいる。ここは変えてもらった方がよいのではないか。

→市：検討させていただく。

④教育委員会としての最低限の方針を出してもらえたら、学校長の方針によって変わってくるということはなくなると思う。

⑤会長・副会長の選出とあるが、コミュニティの皆さんがその役割を担っているか。

→市：学校によってまちまちであり、各運営協議会によって異なる。

#### 5 令和元年度まちづくり協議会会計担当者会議事概要について（市民協働推進課）

市民協働推進課から、令和元年度まちづくり協議会会計担当者会議の議事概要について報告があった。

出た意見は以下のとおり。

##### 【意見概要】

①世帯割は公平に見えるが、提案型の事業に対して補助を行うシステムを考える必要がある。基準額+提案型（加点主義）の出し方も必要だと思う。

②世帯数が多い地域は、上限を区切られてしまうと、一人当たりの額が非常に少なくなる。

→市：まち協補助金のほかにもきずなづくり推進事業補助金などもあるため、そちらも活用していただけたらと考えている。

#### 6 赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願いについて（社会福祉協議会）

社会福祉協議会から、配布資料に基づき、赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願いについて説明があった。

#### 7 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(8)について、資料を用いるなどして周知があった。

(1) まちづくり協議会推薦委員について

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 宝塚小学校区まちづくり協議会

宝塚市自立支援協議会 仁川まちづくり協議会

(2) FM宝塚出演予定

令和元年 9 月 12 日（木） 宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会

令和元年 10 月 10 日（木） 宝塚第一小学校区まちづくり協議会

令和元年 10 月 15 日（火） 売布小学校区まちづくり協議会

(3) (仮称)宝塚市協働のまちづくり推進条例について

(4) 第 22 回市民と市長のテーブルトークについて

(5) 市民活動促進支援事業について

(6) 宝塚市協働の指針市民説明会「地域活動における男女共同参画を学ぼう」について

(7) 防災研修会 in 宝塚について

(8) 令和 2 年度一般コミュニティ助成事業の募集について（ご案内）

## 8 その他

## 9 今後の日程

次回日時：令和元年（2019 年）11 月 13 日（水）14：00～16：00

場 所：未定

**地域ごとのまちづくり計画見直し情報共有会議議事概要  
(宝塚市まちづくり協議会代表者交流会 (令和元年度・第5回))**

開催日時 令和元年(2019年)10月9日(水)14:00~16:00

会 場 宝塚市役所3階 大会議室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長 他1名  
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 平石 美佐子会長 他1名  
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長  
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長 他1名  
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長 他1名  
宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長 他1名  
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表 他2名  
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長 他1名  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長 他1名  
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表 他1名  
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長 他2名  
売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治副会長(会長代行) 他1名  
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長 他1名  
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表  
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長 他1名  
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長 他1名  
中山台コミュニティ 畑中 康治会長 他1名  
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長 他1名  
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長 他1名  
地域自治推進担当次長 平井次長 他12名  
宝塚市社会福祉協議会 牟田事務局長 他13名  
関西総合研究所 宮本氏 他  
OM環境計画研究所 大森氏 他  
市民交流部 新城課長  
市民協働推進課 山田係長 他  
傍聴7人

議事概要(要旨)

**1 本日の概要説明**

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会座長である宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会の加藤会長よりご挨拶をいただいた後、市民協働推進課より、次第に基づき、本日の概要説明を行った。

また、会議の写真をまちづくり協議会のブログなどで使用する可能性がある旨説明を行い、了承を得た。

## 2 自己紹介

各班内の出席者同士で自己紹介を行った。

## 3 グループワーク

A～Fの6班に分かれ、以下(1)～(3)を実施した。

### (1) 各まちづくり協議会の現状共有

班内で、各まちづくり協議会から、以下ア～ウについて発表を行った。

ア 重点取組

イ 他のまちづくり協議会と連携が必要な取組

ウ 特徴のある取組

### (2) 意見交換・質疑応答

班内で、上記(1)の現状共有で気になった点や、特に他のまちづくり協議会に聞きたいことについて、意見交換・質疑応答を行った。

### (3) 「まちづくり計画を完成させるために今後必要な取組」についての検討

上記(1)及び(2)を踏まえ「まちづくり計画を完成させるために今後必要な取組」について、各まちづくり協議会に分かれ、まちづくり協議会からの出席者と地域自治推進担当次長で意見交換を行い、整理した。

## 4 今後の予定

市民協働推進課より、以下(1)及び(2)についてお知らせした。

### (1) 次回の宝塚市まちづくり協議会代表者交流会の開催日時及び開催場所について

開催日時：令和元年（2019年）11月13日（水）14：00～16：00

開催場所：市役所3階 3-3会議室

### (2) 宝塚市協働の指針市民説明会「『協働』から生まれる地域のささえあい」開催について

開催日時：令和元年（2019年）11月1日（金）14：00～16：00

開催場所：宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室1AB

以 上

# 令和元年度 第6回まちづくり協議会代表者交流会

日時：令和元年（2019年）11月13日（水）14時00分～16時00分

場所：市役所3階 3-3会議室

1. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回、第5回）  
議事概要の確認（3分）
2. 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて（75分）
  - (1) 代表者の皆様から、地域ごとのまちづくり計画の見直しに関する取組状況、前月に実施した「地域ごとのまちづくり計画見直し情報共有会議」を踏まえた今後の取組予定、その他良かったこと、困っていることなどについて、ご報告していただきます  
(1人×2分)
  - (2) 意見交換（5分）
  - (3) 地域ごとのまちづくり計画書の形式について（25分）
  - (4) 地域カルテ更新版について（5分）
3. 第6次宝塚市総合計画について（政策推進課）（15分）
4. 夜間・休日の学校への電話について（職員課）（5分）
5. 令和元年度第1回宝塚市セーフティネット会議の報告について（地域福祉課）（5分）
6. 歳末助けあい愛の持ち寄り運動へのご協力について  
(社会福祉協議会)（5分）
7. 市民協働推進課からのお知らせ（5分）
  - (1) FM宝塚出演結果及び予定  
令和元年11月5日（火） 宝塚小学校区まちづくり協議会  
令和元年12月11日（水） 安倉地区まちづくり協議会
  - (2) 市民と市長のテーブルトークについて
  - (3) 市民活動促進支援事業について  
令和元年度補助金・助成金一覧の配布
8. その他

## 9. 今後の日程

次回日時：令和元年（2019年）12月11日（水）14：00～16：00

場 所：未定

### 《配布資料A》

- 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回、第5回）議事概要
- 地域ごとのまちづくり計画書の形式について
- 令和元年度（2019年度）代表者交流会日程

### 《配布資料B》

- 第6次宝塚市総合計画について
- 令和元年度第1回宝塚市セーフティネット会議の報告について
- 歳末助けあい愛の持ち寄り運動へのご協力について
- 令和元年度補助金・助成金一覧

# 地域ごとのまちづくり計画

(逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずり葉コミュニティ))

令和2年(2020年)〇月策定

# 目 次

はじめに .....	1
現状と課題 .....	1
<small>ま ち</small> 地域の将来像 .....	2
基本目標 .....	2
具体的な取り組み .....	2
あとがき .....	10
資料 .....	10



## 【はじめに】

宝塚市では、平成5年から新しくコミュニティ課を新設して、市の主導で市内の概ね小学校区を単位（人口約1万人程度）として、住民活動の横断的な協議会を組織し運営を図るよう推進してきました。

逆瀬台小学校区においても、平成5年から平成7年にかけて10数回の準備委員会が開催され、平成7年6月24日に、市内で9番目のまちづくり協議会が発足しました。これが、逆瀬台小学校区まちづくり協議会（通称：ゆずり葉コミュニティ）です。

そして、「まちづくり計画」策定に関しましては、平成13年6月22日に開催された「宝塚市まちづくり協議会代表者会議」において、「市民と行政の協働によるまちづくり計画の策定について」の議題の中で、地域ごとの「まちづくり計画」の見直し作業をするとの行政よりの報告があり、当地域では、全世帯の合意のもと、他のまちづくり協議会に先駆けて、平成15年12月6日に「まちづくり計画」の具体案を宝塚市に提案しました。

その後、この「まちづくり計画」を単なる計画で終わらせず、具体化するための推進会議を行政とともに開催しフォローアップは、主体が市民か行政か、または事業者を含めた協働で行うか、それらの点を短期、中期、長期に分けて話し合いを行ってきました。また、毎年逆瀬台小学校区まちづくり協議会総会資料に「まちづくり計画書」を添付し、完了したものは除き、計画の実現化を図ってきました。また、令和元年にも、各関係団体の代表者に対するアンケートを実施し、「まちづくり計画」の更なる充実を図りました。これらの内容は「ゆずり葉だより」にもその都度掲載してきました。

これらの作業の経過を経て、令和元年度中に、地域ごとの「まちづくり計画」の進捗状況の確認と現状分析を行うことで見直しました結果、以下のように取りまとめを行いました。

## 【現状と課題】

ゆずり葉コミュニティは宝塚市南西部にある逆瀬台小学校区をその区域としており、東半分は主に昭和30年代～50年代に開発された計画的な戸建て住宅とマンション群が広がり、西半分は六甲山系につながる山地となっています。地区の南部には逆瀬川・白瀬川が流れ、地区全体としては「自然の豊かな閑静な住宅地」としてのイメージが強い一方で、住宅地の大半は丘陵地・山地を開発してつくられ、急な坂道が多く、高齢者の移動や買い物などが課題です。

コミュニティの人口は年々減少傾向にあり、平成31年3月末日現在で8,429人、4,103世帯となっています。そのうち65歳以上の高齢者が44.5%を占め、高齢者の割合が市内で最も高いが、65歳以上の人口に占める要介護・要支援認定者の割合は18.24%と市内でも低くなっており、健康な高齢者が多いといえます。ただし、今後も高齢者が増加していくことが想定され、独居高齢者等の見守り、支え合うことが必要と考えられます。

また当コミュニティ内には、阪急逆瀬川駅方面と西宮市方面を結ぶ県道明石神戸宝塚線があり、平成30年4月に盤滝トンネルが無料化されてから、さらに交通量が多くなっています。ハイキング客やサイクリング客の往来もあるため、安全対策が求められています。

まち  
【地域の将来像】

豊かな自然 ・ 美しいまちなみの中で、健康で安心してらせるまち

【基本目標】

1. 自然を活かした健康長寿のまちづくり
2. ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり
3. 安全・安心・便利なまちづくり
4. 美しい、緑と街並みを培うまちづくり
5. まちづくりにつながるひとづくり

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年					
1. 自然を活かした健康長寿のまちづくり	1 高齢者や家族揃って出来る健康寿命の延伸や健康づくりの散策を楽しむように、ゆずり葉緑地からドングリふれあいの森・ヤマボウシふれあいの森、ガケ崩壊防止工事跡（緑と花づくりエリア）をネットワークする散策路を整備。散策路の東南側の入口となる若瀬橋一帯を魅力ある空間とする。北摂里山博物館「ゆずり葉の森」への出入口を逆瀬台1丁目若瀬橋から白瀬川沿いにおける「アプローチ遊歩道」の新設、これらの取り組みについて引き続き行政に働きかける。	○											奥行き30m、幅員2mで車椅子が通れるようにする

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
2	西宮市に抜ける県道明石神戸宝塚線に散策路としての歩道を新設し、国立公園・檜ヶ峰、甲山森林公園、行者山へのアクセスを強化し、阪急仁川駅より阪急宝塚駅に至る宝塚市西部ハイキングコースを整備。「ゆずり葉緑地公園・ゆずり葉台分岐点」から「西宮北道路分岐点(甲寿橋・盤滝口)」までの歩道を確保する。 <u>これらの取り組みについて引き続き行政に働きかける。</u>	○												歩道幅員2mを確保、車道と歩道の境界にガードレールを設置する。
3	逆瀬川団地入口に接する白瀬川歩道橋の下・逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う散策路と護岸のモルタルを一定の間隔で露地を穿って植樹と花木・花草を植栽し、白瀬川のアメニティロードとすることについて引き続き行政に働きかける。	○												
4	<u>ゆずり葉緑地公園の環境整備について、現状や課題等の把握・検討を行う。</u> (1) ゴミ対策の美化看板の設置 (2) 違法駐車解消のための駐車場の充実などの交通環境整備 (3) 北部地帯にトイレの新設	○												
5	地域住民がお互いに声を掛け合い、助け合って地域内公園、花壇、公共用地の樹木や花の補植、清掃等の居住環境の保全・育成を図る。「地域緑化モデル地区指定花壇」として整備する。	○												
6	公園アドプト制度の導入を推進し健康遊具を設置するため、「公園リノベーション事業」を継続する。	○												

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
					20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
						21年	22年	23年	24年	25年					
	7	裏山の自然や散策路の整備、維持管理、及び健康寿命の延伸を図る健康づくりと環境美化を兼ねた散策活動の活性化に務める。	○		→					○					
	8	深谷貯水池を周囲に桜木の植樹、水にふれあえる公園として有効活用できるようにする。	○		→					○					
	9	宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報の定期的に行うように要望する。	○		→					○					
	10	<b>空き家の放置、環境悪化が問題となった際に単位自治会から市に連絡し、所有者に草刈り等の連絡調整をしてもらう。</b>		○	→							○			
2. ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり	11	小学校・中学校・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民へ開放し、スポーツ活動・コミュニティ活動の活性化を図る。	○		→							○			
	12	スポーツ行政を推進する立場から「小学校体育施設開放事業」の運用強化を図り、住民ボランティアによる逆小体育施設運営委員会に積極的に参画する。	○		→							○			
	13	「宝塚市コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を設置し、学校、保護者、地域が一体となった子どもの教育に関わっていく。		○	→							○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考							
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政						
					21年	22年	23年	24年	25年											
14	地域のコミュニティ活動の中心となる「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するために、周辺の環境条件の充実、 <b>例えば、車利用者への対応や出入り口等の整備について現状や課題等の把握・検討を行う。</b>	○																		
15	逆小正門から100m下るバリケードの間を、道路指定から学校敷地へ用途変更し、逆小脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用することについて、 <b>引き続き行政に働きかける。</b>	○																		
16	<b>高齢者の福祉と買い物対策として、新たな交通手段を検討する。</b>		○																	
17	自治会が管理運営する自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して顔見知りの関係をつくる。	○																		
18	地域の有志に、街かどふれあいスペース（蔵書の公開、オープンガーデン、趣味の作品展など）を提供してもらい、地域住民間のふれあい・交流を活発にする。	○																		
19	<b>高齢者等が気軽に集まって食事ができる場をつくる。（地域食堂、気軽に立ち寄れる喫茶スペースなど）</b>		○																	
20	独居老人の意向をふまえながら、病弱、持病がある人や障害がある人達の希望をまとめ、緊急通報システムや買い物の手伝いなどの具体的な見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。併せて、「災害時要援護者支援制度」の取り組みを推進する。	○																		

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年					
	21		○								○		
	22		○									○	
	23	○									○		
	24	○							○				
	25	○									○		
3. 安全・安心・便利なまちづくり	26		○									○	
	27	○										○	周辺地域からの車の通り抜けが多く危険
	28		○									○	
	29	○										○	3道路が交差し、住宅街で見通しが悪い上に県道明石神戸宝塚線に通り抜けする車が非常に多いため、通学時は大変危険

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
30	青葉台の④蔵人台共同墓地及び⑧市営西山霊園への車を利用しての墓参者の対応について検討を行う。	○												
31	逆瀬台5丁目から共同墓地横を通り南口・逆瀬川方面への道路の安全対策について行政に働きかける。	○								○				道路中央の部分が高くなっており、現在の停止ラインで止まっても逆瀬台方面から来る車は見えにくいので大変危険
32	路上駐車は、車椅子の障害となり、また見通しも悪くなるので、取り締まりを強化するよう警察署へ要望すると共に、地域独自のパトロール等に取り組む。	○									○			
33	阪急バス・逆瀬台センター行きの路線でバス停の間隔が長く、高齢者の行動圏拡大のためにも、逆瀬台1丁目と逆瀬台5丁目の中間地点に新しいバス停の設置を要望する。	○									○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年	25年						
	<p>34 県道明石神戸宝塚線は、荒地西山線が開通すると交通量がますます増大する。このため、県道明石神戸宝塚線（白瀬川橋西詰から諭鶴羽橋北詰までの区間）の安全性確保、事業化の推進について、行政に働きかける。</p> <p>(1) 3車線にして、右左折レーンの完全整備を行う</p> <p>(2) 南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道を設置する</p> <p>(3) 歩道区域は、常緑高木の緑地化とその樹間はベンチ等を置いて憩いの場とする</p> <p>(4) 現在2カ所あるバス停に十分なポケットを設置する</p>	○													
4. 美しい、緑と街並みを培うまちづくり	<p>35 コミュニティ西側に広がる里山は宝塚市全体の貴重な自然であり、健康づくり活動とも連携しつつ、ボランティアな管理活動の推進を図る。</p>	○													
	<p>36 県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、街並みの統一・街路樹の統一・瀟洒なデザインの街路灯設置、歩道の美装化など安全で快適な道路空間づくりについて、行政に働きかける。</p>	○													
	<p>37 逆瀬台3丁目から6丁目まで整備された紅白のサルスベリの街路樹について水やりや手入れを継続する。</p>	○							○						花と緑の公園都市宝塚に相応しい逆瀬台の景観づくりは10年を超えて大プロジェクトが完了



基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
	38 逆瀬台1丁目から白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近について、まちなかの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路灯の設置について、行政に働きかける。	○												
	39 県道明石神戸宝塚線に沿う宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットはまちなかの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどしてこれらの撤去検討を要望していく。	○							○					
5. まちづくりにつながるひとづくり	40 小学校、中学校の教育のなかで地域の魅力や問題点の発見学習を行い、まちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。	○								○				
	41 積極的に声をかけ合う「あいさつ運動」を実施する。	○							○					
	42 逆小児童の登下校時の見守り活動を活性化する。特に土、日曜日、祝日と年末年始を除く育成会児童の同伴下校を充実させる。	○								○				
	43 地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。（福祉ネットワーク会議等）	○								○				
	44 地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、音楽会や住民持ち寄りの作品展示・観賞等を通じ地域文化の発揚と交流を定着する。	○								○				

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
45	地域内の様々な才能をもった住民を「人材バンク」として登録し、いざというときに活躍していただけるシステムをつくる。	○								○				
46	地域住民を対象としたまちづくり学習、講演会の開催、県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。	○								○				
47	他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。	○								○				
48	ミミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実に努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。	○								○				
49	「白瀬川の自然を育てる会」を発足し、 <u>白瀬川でホタル観賞、自然観察等ができるように環境の保全維持に努め、住民の交流の場づくりを目指す。</u>	○										○		

【あしがき】

【資料】